

商品(技術)の開発手順

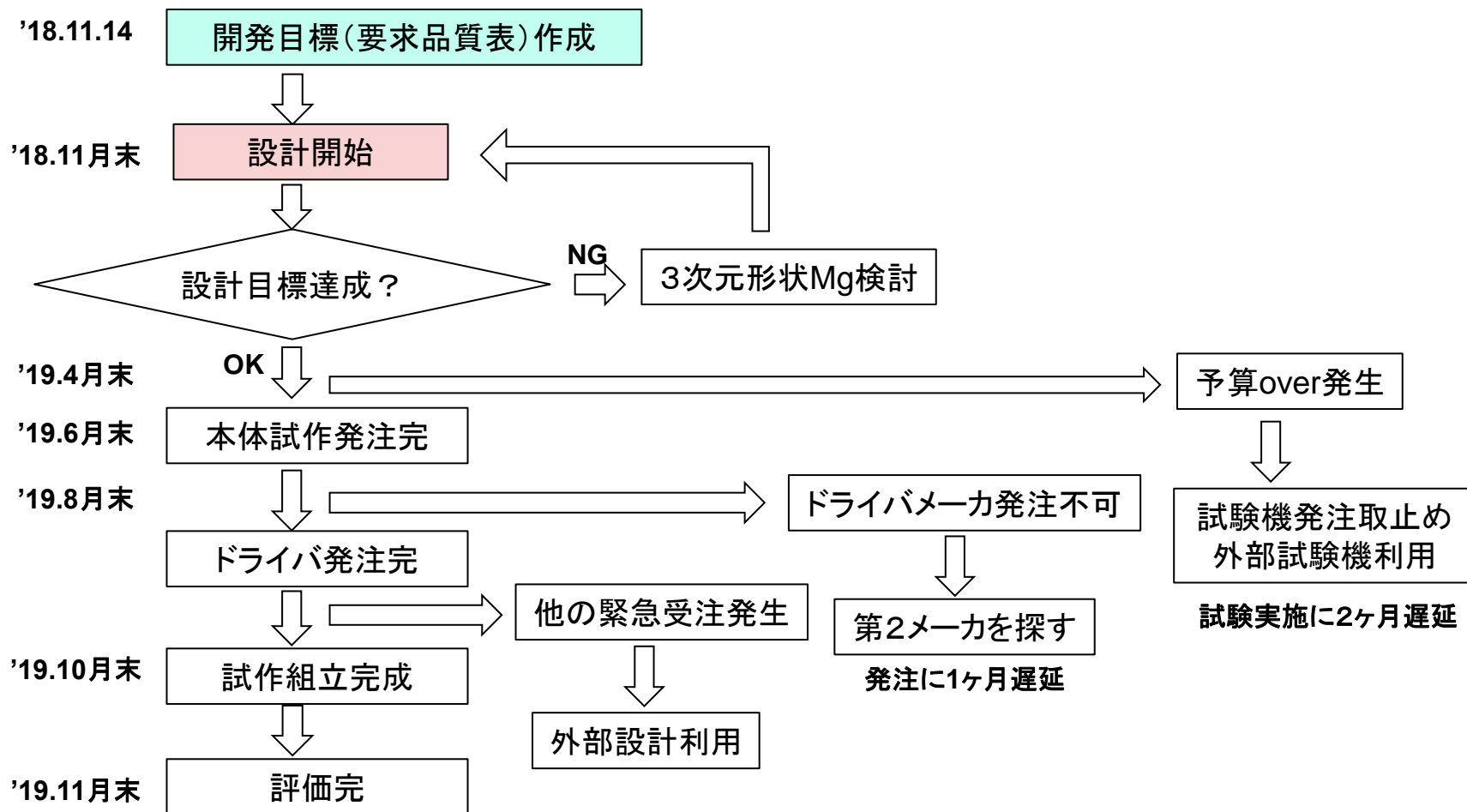
1. 目標設定: PDPC作成
2. 要求品質の確認: QFDの作成
3. シミュレーションによる検証
4. 設計内容確認: FMEAの作成
5. 構造設計、電磁設計
6. 組立と実験による検証
7. 問題点の対策: FTAの作成

1. 目標設定：要求品質表の作成

要求品質			設計的な要求品質	備考(方策・課題)	評価方法	判定基準	重要度	達成レベル		
1次	2次	3次						開発品	競合品	
出力が大きい	トルクが大きい		定格トルクが大きい	駆動時間を延長のため、冷却性を高める。	トルク測定	0.3 Nm以上	5	2	3	
			最大トルクが大きい		トルク測定	1Nm以上	5	2	3	
	回転速度が速い		高速回転できる	-	T-N測定	80000min ⁻¹ 以上	3	5	3	
	定格出力が大きい	発熱しない		損失が小さい	駆動時間を延長のため、放熱性を高める	損失寄与率	-	5	3	3
		放熱性が良い		放熱性が高い		ヒートラン試験	-	5	4	3
軽い									3	
									3	
小さい										
屋外で使用できる										
静かである										

開発品の予想成果：新鉄心の適用による高速低損失化をアピールできる。
 (どんなモータを作りたいのか、どんな成果を得たいのかを明確にする)

2. 適宜:PDP(課程決定計画法)の実施



開発品の目標達成には最短__ヶ月、最長__ヶ月必要。仮に_____評価がNGになった場合、対策に要する期間を半年内で行う必要がある。